

exhibition

air scape

location hunting 2017

ヤマガミ ユキヒロ

YAMAGAMI YUKIHIRO

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1

2017年10月10日[水] — 11月5日[日]

11:00 ～ 19:00 / 金曜日は20:00まで / 月曜休廊

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1

Gallery **PARC**
GRAND MARBLE

2000年に京都精華大学美術学部を卒業したヤマガミユキヒロ(1976年・大阪府生まれ)は、「キャンパス・プロジェクション」という独自の手法による作品を展開しています。その作品は綿密なりサーチにより選び出したロケーションから、建築や構造物を鉛筆で丹念に描写した絵画に、同一視点から撮影した映像をプロジェクターにより投影するものです。膨大な時間を重ねて描かれた絵画の上に、幾度も取材を重ねて撮影した朝・昼・夜や春夏秋冬に見られる光や色彩の変化、流れる雲や行き交う人々などの「うつろう時の流れ」が重ねられたとき、ある一瞬を描きとどめた絵画の中に時間が流れはじめます。

たとえば「日中の無人の渋谷ハチ公前」を写真や映像で撮影することは困難ですが、絵画ではその光景を描き出すことができます。そして、絵画ではその空間にうつろうすべて光景を描き出すことは困難ですが、映像はそこに少なからず迫ることができます。風景を絵画と映像に分解し、再び画面上で重ね合わせるこの方法は、いわばそれぞれのメディアの特性を膨大な作業量(鉛筆による細密描画と入念な映像撮影・編集)によって際立たせることで、それぞれの矛盾を揺らぎながら画面上に同位させらるものであるといえます。

また作品を前に、映像から絵画、絵画から映像へと認識が往来する体験は、いつしか鑑賞者の記憶や想像を呼び起こし、画面上にそれぞれの物語を重ねることをも促します。

2003年よりこの手法による作品に取り組んでいるヤマガミは、これまでに東京・大阪・兵庫・京都など各地を取材して作品化してきました。それぞれの制作にあたっては、描くべき対象を探すために現地で様々な場所を巡り、多くのドローイングを制作するとともに、何度も取材に訪れてカメラを回すことで、その場所の時間経過によるうつろいを観察するという、膨大なロケーション・ハンティングの段階があります。

本展は、2階展示スペースを「location hunting 2017」、3・4階展示スペースを「air scape」として構成しています。展示された絵画はすべて過去作品ですが、プロジェクションされる映像はいずれも新規編集の上で、すべてが時間軸(朝～昼～夜)を同期したものとして展開しています。

「location hunting 2017」は、近年のヤマガミの活動にともなうロードムービー的な側面を持つものであり、2015年でのGallery PARCでの展覧会「Noises,Crowds,and Silent Airs」や、2016年のあまらぶアートラボ A-Labでの展覧会「まちの中の時間」で試みた展示のブラッシュアップバージョンとなります。ヤマガミの代表作のひとつでもある《 東京駅の眺望 》(2012)や、四条大橋を取材した《 Noises,Crowds,and Silent Airs 》(2015)をはじめ、各地を取材する中で制作したドローイングを含むおよそ24点を一堂に展示するものです。制作時期や場所を異にする風景の断片は、流れるタイムラインを同期させることで「時間」によって繋がり、大きなうつろいを含んで流れる「世界」そのものを立ち上げさせます。

また、「air scape」は《 六甲山からの眺望 》(2013)や《 Sheltering Sky 》(2011)など、「空の表情」に着目した過去作品により構成します。それぞれの作品が見せるうつろいを眺めるうち、いつしかそれらが「空」で繋がることで、より広く、より大きく、より多様な、ありのままの世界を想うことができるのではないのでしょうか。

Artist Statements

世界には様々な事が同時に起こっています。

鳩が空を飛び、飛行機も飛び、さっきまで輝いていた太陽は雲に隠れて、僕は絵を描き、彼は仕事をし、あなたは友人とお茶を飲んでいる。各地で起こっている様々な物語は、一つのエンディングには向かっていませんが、同じタイムラインのもと同時に進んでいます。それらの景色たちは、途中で切断され全く別の物語が始まることもありますし、そのまま続く事もあります。主役も脚本もないその物語たちは、互いに交差しているかもしれないし、していないかもしれませんが、どこかで絡み合っているような、そんな気がするのです。

作品は、0キロポストである東京駅の作品を中心に据え、ロケハンで訪れ各地で出会った風景で構成しています。そのサンプリングされた景色たちには、はじまりと終わりは無く、脚本やストーリーもありません。そこにあるのは、ある瞬間に訪れた風景の断片たちなのです。その断片を並べ、混ぜ合わせた光景は、鑑賞時に記憶や想像の追記がされ、ひとつの物語へと繋がっていくのです。

2017年10月10日〜11月5日 Gallery PARC 千代田区千代田1-1-1

*ロケーション・ハンティングとは、映画やテレビの制作において、主に屋外のロケ地を探すことを指す和製英語である。略称は「ロケハン」(wikipediaより抜粋)

2017年10月10日〜11月5日 Gallery PARC 千代田区千代田1-1-1

2017年10月10日〜11月5日 Gallery PARC 千代田区千代田1-1-1

2017年10月10日〜11月5日 Gallery PARC 千代田区千代田1-1-1

CV

ヤマガミユキヒロ
http://www.yamagamiyukihiro.net

1976年、大阪府生まれ。2000年、京都精華大学美術学部卒業。京都市在住

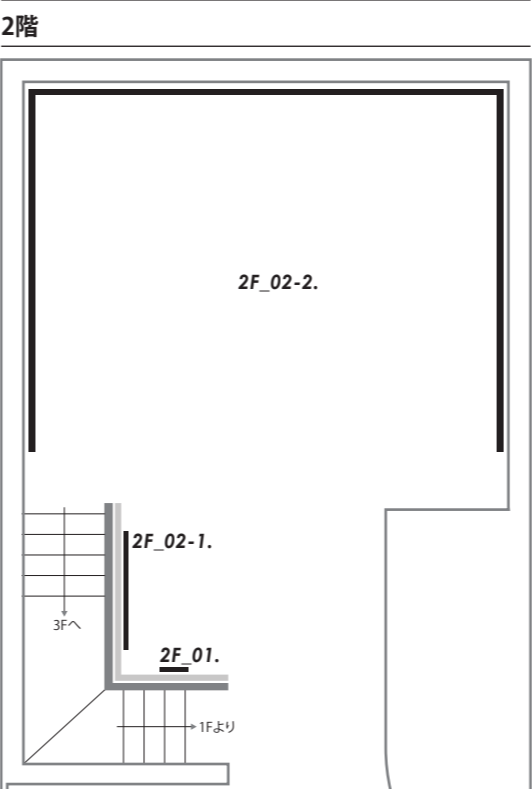
近年のおもな展覧会
2017 星空のすいぞくかん(佐賀県庁展望ホール、佐賀)
2016 【個展】ロケーションハンティング(あまらぶアートラボ A-Lab、兵庫)
・ 土木展(21_21 DESIGN SIGHT、東京)
・ 【個展】Air Scapes(札幌市資料館 SIAFラボ、札幌)
2015 まちの中の時間(あまらぶアートラボ A-Lab、兵庫)
・ Media Butterfly in有田2015(深川製磁本店、佐賀)
・ たかさき発! 鉄道とアートの旅(高崎市美術館、群馬)
・ 【個展】Noises,Crowds,and Silent Airs(Gallery PARC、京都)
・ テンブス・フーギット - 大山崎山荘とヤマガミユキヒロの視点(アサヒビール大山崎山荘美術館、京都)
2014 コラボレーション 林宗一郎×ヤマガミユキヒロ - Noh Play-(Gallery PARC、京都)
・ Media Butterfly(香蘭社赤絵町工房、佐賀)
・ TARO賞の作家II(川崎市岡本太郎美術館、神奈川)
・ 窓の外、恋の旅。／風景と表現(芦屋市立美術館、兵庫)
2013 六甲ミーツ・アート芸術散歩2013(六甲山、兵庫)
・ すみだ川アートプロジェクト2013(アサヒアートスクエア、東京)
・ 【個展】little trip(Gallery PARC、京都)
・ re:framing-表情の空間-(京都芸術センター、京都)
2012 始発電車を待ちながら(東京ステーションギャラリー、東京)
2011 【個展】Sheltering Sky(Gallery PARC、京都)
2010 【個展】Sampling Your Memory(Gallery PARC、京都)
・ 【個展】SleepWalking(neutron tokyo、東京)
2009 Mirage(同志社大学京田辺キャンパス、京都)
・ 【個展】SynchroniCity(neutron kyoto、京都)
2008 第11回 岡本太郎現代芸術賞展(川崎市岡本太郎美術館)

舞台芸術
2017 noh play -TAMURA- | 東アジア文化都市2017京都 開幕式典(ロームシアター京都メインホール、京都)
2016 noh play 2016 | Traditional Trial～能、狂言プラス～(札幌市教育文化会館、札幌)
2014 noh play 2014 | 伝統芸能パラエティーボックス(京都芸術センター、京都)

賞歴
2008 第11回 岡本太郎現代芸術賞展 特別賞
2000 Mio 写真奨励賞2000 優秀賞

パブリックコレクション
ビクトリア国立美術館(オーストラリア)
北山文化環境ゾーン交流連携会議(京都府)

WORKS



2F_01.
Noises, Crowds And SilentAirs (study)
2003 トレーシングペーパーに写真, アクリル

*「キャンパス・プロジェクション」の手法の原型ともいえる習作のひとつ。「街のうつろいを如何に描き出すか」を模索し、四条大橋南西から見た風景から建築などを描いた上に、人や車といったうつろうものをトレーシングペーパーで描き重ねている。

2F_02-1.
Noises Crowds and SilentAirs
2015 紙に鉛筆, HDビデオ 130cm×60cm

*京都の四条大橋東詰から西を望んだ作品。本展においては「location hunting 2017」の構成作品のひとつ。タイトルは同時に2003年の習作と同様としている。アクリルを用いた描画はより精密な線描の可能な鉛筆へと、「街のうつろい」の要素はプロジェクションへと移行している。

2F_02-2.
Location Hunting 2017
2017 全24点により構成 サイズ可変

*各地でのロケーション・ハンティングの過程で制作したドローイングすべてに、映像を投影するインスタレーション。2015年の展覧会「Noises,Crowds,and Silent Airs」(Gallery PARC、京都)において、14点のドローイングに同時プロジェクションしたける試みをブラッシュアップし、すべての映像の時間軸を同期させることで、別の場所・別の時期に描かれた個別の風景を流れる時間によって繋げる。

[2階展示室東側壁面]

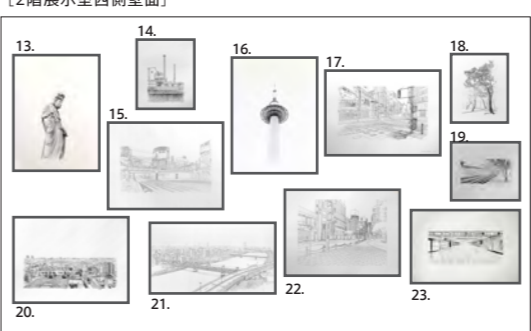


01. KOBE port tower (ポートタワー・兵庫)
*2014年『窓の外、恋の旅。／風景と表現』に向けた制作・発表のためのロケ地のひとつ。必然的に空が背景となるタワーはこれ以外にも幾つか描いている。
02. 深泥池・桜 (京都)
*《 SAKURA Scape 》(2013)の制作のため京都・深泥池の桜を取材したもの。このドローイングを元にした本作は、後に軸装風に表装し、春と秋の二様を描いた連作となる。
03. ASAKUSA kaminari-mon(浅草寺雷門・東京)
04. ashiya river(芦屋川・兵庫)
*「窓の外、恋の旅。／風景と表現」に向けた制作・発表のためのロケ地のひとつ。芦屋周辺を描いた5点を含めた「HANSHIN go-kei 」として発表している。
05. TOKYO tower(東京タワー・東京)
06. Takeo tower gate(武雄温泉楼門・佐賀)
*東京駅などを手がけた佐賀県出身の建築家・辰野金吾による武雄温泉入口の楼門。2015年に佐賀県・有田市で発表したこの作品は、現在、佐賀県庁展望フロアにて毎日2時間の限定公開中。
07. 窓の光II 習作 (京都)
*2015年『テンブス・フーギット - 大山崎山荘とヤマガミユキヒロの視点』の会場となった大山崎山荘美術館内廊下。
08. Shibuya(渋谷ハチ公前・東京)
*4階に展示されている、2011年発表の《 Sheltering Sky 》のためのドローイング。
09. KOBE motomachi(大丸神戸店前・兵庫)
*「窓の外、恋の旅。／風景と表現」に向けた制作・発表のためのロケ地のひとつ。
10. KAMOGAWA(鴨川・京都)
*2015年の個展での発表作品《 Noises, Crowds And SilentAirs 》のためのドローイング。
11. takasaki station(JR高崎駅ホーム・群馬)
*2015年の高崎市美術館での発表作品《 train spotting 》のためのドローイング。

[2階展示室北側壁面]

12. 東京駅の眺望(後期)
2012 パネルに鉛筆, HDビデオ 400cm×100cm
*2012年『始発電車を待ちながら』(東京ステーションギャラリー)での発表作品の後期バージョン。画面左半分には展覧会の開始直前まで工事現場が存在していたため、前期バージョンには工事中のプレハブが描かれている。展覧会では会期中にプレハブ撤去後の姿を追加で制作し、画面半分だけの展示替えを行なった。

[2階展示室西側壁面]



13. takasaki kannon (高崎白衣大観音 慈眼院・群馬)
14. amagasaki (王子製紙神崎工場・兵庫)
*2016年「ロケーションハンティング」展に向け、尼崎周辺を巡るロケハンのなかで制作したドローイング。
15. SHINJUKU(新宿大ガード西交差点・東京)
*「窓の外、恋の旅。／風景と表現」で発表した《 新宿コーリング 》のためのドローイング。本作は2017年にビクトリア国立美術館(オーストラリア)所蔵。
16. KYOTO tower(京都タワー・京都)
17. OSAKA namba(南海なんば駅前・大阪)
18. ashiya park(芦屋公園・兵庫)
19. JR Yamanote line(東京駅山手線ホーム・東京)
20. amagasaki (尼崎市役所屋上・兵庫)
21. 隅田川 (東京)
*2014年発表《 浅草鳥瞰図 》のためのドローイング。

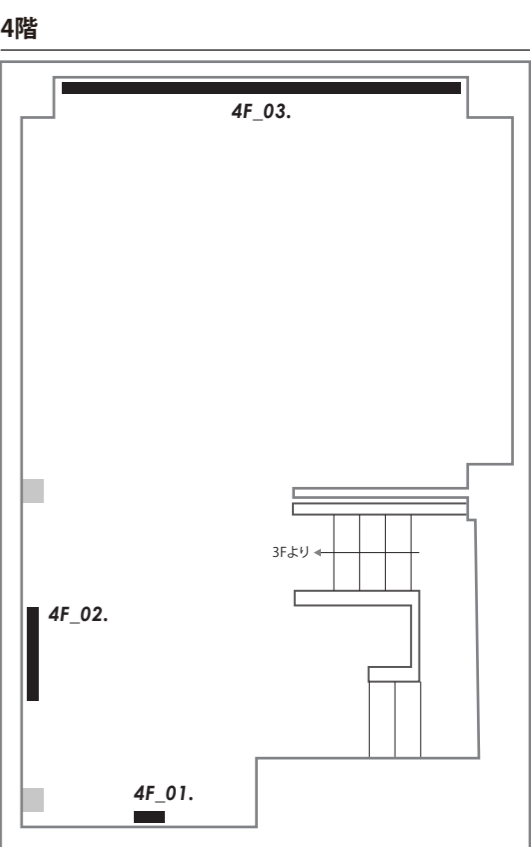
21. 隅田川 (東京)
*2014年発表《 浅草鳥瞰図 》のためのドローイング。
22. SHINJUKU(JR新宿駅東口改札アルタ前・東京)
*2014年「TARO賞の作家II」(川崎市岡本太郎美術館)で発表した《 都市の印象 》のためのドローイング。
23. Tokyo station(東京駅中央コンコース・東京)
*2012年『始発電車を待ちながら』(東京ステーションギャラリー)で発表した《 little trip 》のためのドローイング。

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1

3階
3F_01.
color palette (grid)
2016 ラムダプリント
*ロケーション・ハンティングで訪れた各地で撮影した空のデジタル写真をランダムに並べたもの。

3F_02.
Air Scapes
2013 ポジフィルム, ライトボックス
*訪れた様々な土地の空を撮影したポジフィルム。

2017年10月10日〜11月5日 Gallery PARC 千代田区千代田1-1-1



4F_01.
Air Scapes
2013 ポジフィルム, ライトボックス
*ある夕暮れの空を撮影したポジフィルム。

4F_02.
Sheltering Sky
2011 パネルに鉛筆, HDビデオ 110cm×210cm
*東京・渋谷駅前でもっとも印象的な人々の往来をすべて消し去り、夜明けから暮れゆく空、光りは始めるネオンといった光りのみを抽出した作品。

4F_03.
六甲山からの眺望
2013 パネルに鉛筆, HDビデオ 380cm×120cm
*2013年『六甲ミーツアート』(兵庫)での発表作品。六甲山ガーデンテラスのデッキより南側を望んだ風景。画面左が大阪方面、中央に六甲アイランドが見渡せる。